

教 育 研 究 業 績

2021年 5月 1日

氏名： 小林 規江
学位： 修士（人間学）

研 究 分 野		研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド		
心理学		臨床心理学		
主要担当授業科目	<学部>心理演習, 心理実習 <大学院>臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅲ）, 臨床心理実習Ⅱ, 心理実践実習Ⅱ, 心理実践実習Ⅳ, 心理実践実習Ⅴ, 心理実践実習Ⅵ, 心理実践実習Ⅶ			
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項				
事項	年月日	概要		
1 教育方法の実践例 専修大学 臨床心理実習ⅡA・ⅡB	2018年 4月1日	大学院生2年生を対象とした授業では, 学内外の実習において担当しているケースについてのスーパービジョンを行っている。その際, ケースを発表するセラピストの主体性を伸ばすことを意識しつつも, グループスーパービジョンとして精神力動も考慮して授業を進めることに留意している。		
2 作成した教科書, 教材				
3 教育上の能力に関する大学等の評価				
4 実務の経験を有する者についての特記事項				
5 その他				
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項				
事項	年月日	概要		
1 資格, 免許 財) 日本臨床心理士資格認定協会 臨床心理士（登録番号 31515）取得 公認心理師（第 25554 号）取得	2016年4月 2019年4月			
2 特許等				
3 実務の経験を有する者についての特記事項				
4 その他				
研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1 2 3 :				
(学術論文) 1 『「児童思春期精神科病棟における“心理の時間”-食べることを拒否する女兒との表現遊び-」』	単著	2014年11月	明治大学心理臨床学研究 第10号 pp.38-51 明治大学心理臨床セ	では児童思春期精神科病棟で担当した摂食障害と診断された女兒との“心理の時間”の経過の一部を報告したものである。クライアントとのやりとりはおもちゃでの遊びと並行して, 黒板で

2「次元を通じてみたスキグルの過程と描き手の体験」	単著	2014年11月	ンター P38 ～ P51 明治大学心理社会学研究第10号 P19 ～ P37	のお絵かきやスキグルを行なった。特に後者ではお互いに思いつきで応じることが多く、セラピストの直感的なイメージ表現を使ってクライアントが楽しんでいる様子もうかがえた。またクライアントの思いつくイメージ表現も自由な形で出てきたと考えられた。 本考察は、1人の女子大学生協力者と1回実施した5往復のスキグルの過程を、面接調査によつての得られた質的データを基に再現し、検討したものである。まずは、言葉の次元、線の次元、色の次元、表現された描画の次元、身体感覚の次元、の大きく5つの次元で捉えることでスキグルの過程を見ていった。結果として、スキグルの過程は多次的で立体的な進行をすると考えに至った。
3『寓話『セレンディッポと三人の王子』における「セレンディッポ」概念の検討-入れ子構造に焦点を当てて-』	単著	2016年2月	日本トランスパーソナル学会第14号 P45 ～ P56	意外性が包含すると考えられる一概念であるセレンディッポという造語について考察した。この造語の起源となった寓話『セレンディッポの3人の王子』を概観した。この寓話に見られる、入れ子構造には明示的な場合と暗示的なものがある。特に暗示的な、言葉にし難い曖昧な意味について、中井(2004)の徴候と予感という言葉や、Gendlinのインプリシットを参考にして、臨床心理学的に位置付けることを試みた。
4「児童思春期精神科病棟内で行なった遊ぶことの難しい女兒とのプレイセラピー」	単著	2018年11月	明治大学心理臨床学研究第14号 P38 ～ P51	児童精神科病棟内で3回の入院を体験した摂食障害の女兒との主にスキグルを中心としたプレイセラピーの報告である。第1回目の入院では摂食障害の症状は取れたが、対人関係に間は残されたままの退院となった。第2回目の入院は嘔吐恐怖を改善することを目的として1ヶ月入院で解消された。第3回目の入院は中学校に通えることと昼夜逆転の生活を改善するためのものであった。中学校を無事卒業し、声優になりたい、という意志を示して終了となった。
(その他) 1 2 3 :				

(注) 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものを記入しないこと。